

中学に入ってからは——

という学校の先生の言葉を鵜呑みにした両親の指導でひたすら勉強の日々

そのおかげで英語のスピーチコンテストや数学オリンピックに参加するほど成績が伸びて東大法学部に進学

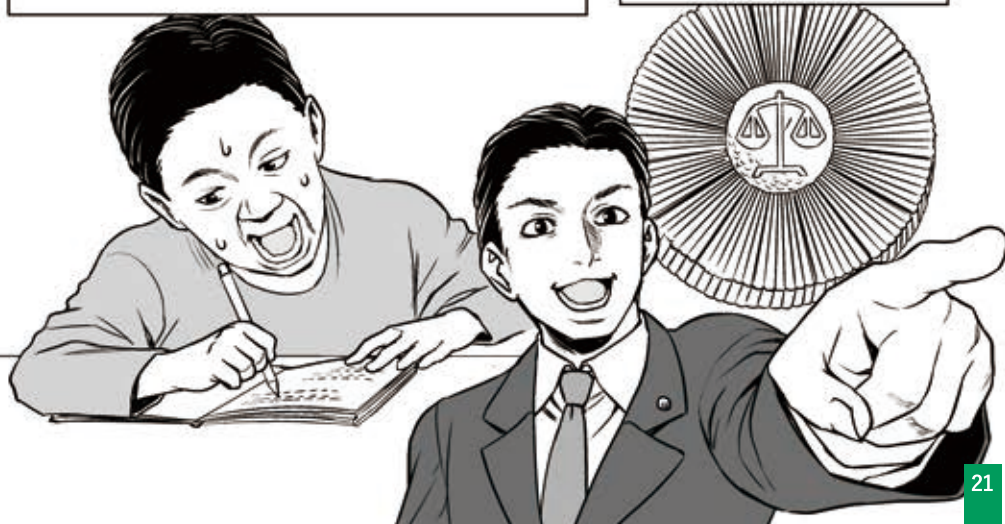
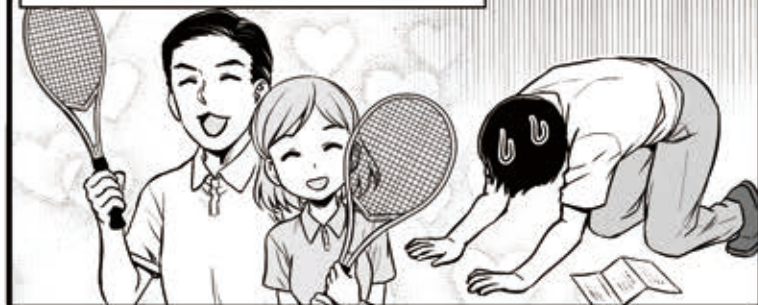


大学ではテニスサークルに入ったり恋愛にはまったり人生初めてリアルが充実した結果勉強をしなくなったため当然ながら成績が急降下

司法試験に2度連続で不合格になりました

勉強の大切さを思い知りその後は死ぬ気で努力したおかげで3度目の司法試験で遂に合格

弁護士のキャリアをスタートしました





## 2章 弁護士時代

私はこれで弁護士になりました

学生時代から  
アニメオタクだった  
経験を生かして  
エンターテインメントの  
支援を行いました



国内では  
メジャーリーグの  
放映権に関する  
マスターライセンス  
契約や有名作品の  
ライセンス契約の  
策定に従事

またシャネルや  
エルメス  
ロレックス  
など高級  
ブランドや

マイクロソフトや  
Adobe などの  
ソフトウェアなどの  
知的財産権を守る  
仕事をしていました

アメリカでは  
日本のアニメを  
世界に届ける  
仕事に従事したり

仕事の幅を  
広げるため  
海外に留学  
しました

ところが海外から  
見ると日本は  
世界の潮流に  
取り残されていると  
感じたのです

私は現在の  
変化の遅い法律を  
時代にあわせて  
変えていく必要が  
あると思いました

そして将来の日本が貧しく  
なっていくのを防ぐために  
弁護士としての安定した  
生活を捨て私は政治家に  
なろうと決意したのです

